

郷誠之助 せいのすけ 實業家。元治二年一月八日美濃國生れ、昭和十七年一月十九日没（二六五一―一九四二）。明治十五年東京大學入學後ドイツ留學。二十四年歸國して農商務省屬託、二十八年日本運輸社長に就任、その後各諸會社の再建を任せられ、次々成果を挙げた。四十四年貴族院議員、東京株式取引所理事長、大正六年日本工業俱樂部の創りに参劃、昭和五年日本商工會議所會頭など多くの要職を務めた。當代財界の中心人物。

著書「財界隨想」(帆足計編、昭和十四年五月二日慶應書房)、可時「局白眼」(合著・都新聞社編、昭和十四年十一月一日秋豐園出版部)等。文獻、鈴木鷲山著「男爵郷誠之氏彈劾論」(昭和九年八月六日鈴木鷲山刊「パンフレット」)、野田禮邦著「人間・郷誠之助」(昭和十四年五月十八日郷誠之助傳記刊行會)等。

